

自立生活センター講演会

～難病と共に生きる～

2018年

3月10日 土 13:00-17:00

船橋市 浜町公民館【講堂】 船橋市浜町2丁目1-15 TEL 047-434-1405

テーマ

- ① 難病とはなんなのか、どういったことが起きるのか
- ② 難病に関する制度について
- ③ 制度の谷間
- ④ 難病者は何の支援が必要なのか
- ⑤ どういった支援を望んでいるのか
- ⑥ 難病当事者として思うところ

講師：西田えみ子プロフィール

1971年新潟県生まれ。幼稚園卒園前に1型糖尿病を発病。25歳にインターネットで仲間と知り合い患者会に参加。10代から低血糖昏睡を頻繁に起こして困っていたが、病気のせいではなく必要な医療が受けられない「環境」に問題があると気づく。2002年からCSII療法を開始。以後インスリンポンプワールドに夢中。障害者手帳はないけれど、社会的障壁のある障害当事者として活動している。

- ・障害者の生活保障を要求する連絡会議（障害連）事務局長
- ・難病をもつ人の地域自立生活を確立する会 副代表
- ・インスリンポンプの会 副代表

『著書（共著）「生きている！殺すな」』



講師：白井誠一郎プロフィール

1983年東京生まれ。生まれつきの難病で生後1年で先天性ミオパチーの診断が確定。15歳の時に症状が進行し、2年後に障害者手帳を取得。大学では社会福祉を学び、社会福祉士国家資格を取得。大学卒業後、難病当事者として活動をはじめ。その後、大学院に進学し「制度の谷間」をテーマにした研究論文をまとめ、修士号（社会福祉学）を取得。大学院卒業後、2013年頃より障害者団体に所属し、難病当事者として本格的に障害者運動にかかわりはじめる。

現在

DPI日本会議事務局次長、障害連事務局次長



ご予約
お問い合わせ

主催：NPO 法人 船橋障害者自立生活センター
TEL: 047-432-4554

メール：cil-funabashi@cil-funabashi.org